

平成21年度
事業報告書

事業名

育成事業
社会適応推進事業
派遣事業
調査研究事業
管理部門（法人会計）

平成21年11月 2日から
平成22年 3月31日まで

公益財団法人 北海道盲導犬協会
札幌市南区南30条西8丁目1番1号

平成21年度 公益財団法人北海道盲導犬協会 事業報告

育成事業 〈公益目的事業1〉

(自平成21年11月2日 至平成22年3月31日)

1. 盲導犬の訓練および貸与に関すること

- 1) 宮城県の新規希望者に盲導犬貸与を行った。

21年度合計卒業頭数16頭

- 2) 平成21年4月から11月までに貸与した16名のユーザーに対し3ヵ月フォローアップ及び、冬期フォローアップを実施した。

- 3) 平成22年度貸与に向けた訓練頭数

平成21年11月2日 29頭

平成22年3月31日 24頭

この期間中のキャリアチェンジは5頭

2. 繁殖犬に関すること

- 1) 平成22年度適性評価対象となる子犬11頭を出産、パピーウォーカーへ委託した。
- 2) 平成23年度適性評価対象となる子犬9頭を確保した。

平成21年度 繁殖犬総数 57頭

種類内訳 ラブラドル51頭 (オス16、メス35)

ゴールデン5頭 (オス1頭、メス4頭)

F1 (ラブラドル×ゴールデン) 1頭 (メス1頭)

- 3) 育子期間中の繁殖犬飼育委託家庭5件に定期訪問を実施した。

(標準訪問日：出産時、狼爪切除時、10日目、離乳時、30日目、ワクチン接種時)

- 4) 繁殖犬飼育委託家庭に対して平成22年1月31日繁殖計画説明会を実施した。

- 5) 業務を円滑に進めるため、訓練チーム職員の繁殖業務兼任とパート職員2名を雇用した。
- 6) 繁殖犬委託規程を見直しに着手した。
- 7) AGBN加盟施設との繁殖交流、国内外から調達した凍結精子を活用し血統の拡大と新血統の導入を図った。

他施設雄犬使用交配 8腹、内凍結2腹

子犬の導入 2腹5頭

雄犬貸出 3件・交配 2件

3. パピーに関すること

- 1) 平成22年度および平成23年度適性評価対象となる子犬11頭をパピーウォーカーへ飼育委託した。

平成21年度パピー委託頭総数 72頭（うち死亡犬1頭）

種類内訳 ラブラドル70頭、ゴールデン2頭

- 2) パピーウォーカー通信を月1回発行し、パピーウォーカー講習会の開催告知やパピーウォーキングに関する情報提供に努めた。

期間中発行数5回

- 3) パピーウォーカーへの家庭訪問、講習会を定期的実施して飼育指導・相談などを行った。

家庭訪問回数 124回（担当者がパピーウォーカーの自宅に訪問して行う飼育指導）

PW講習会 25回（パピーウォーカーが来所して行う飼育指導）

しつけ講習会 5回（講習を希望するパピーウォーカーが来所して行う飼育指導）

4. 老犬に関すること

- 1) 寝たきり状態の老犬に対して、床ずれ防止用ベットを用意して介護方法を工夫するなど、老犬の精神状態や健康状態を十分に把握し充実した生活を送れるよう環境を整えた。
- 2) 情報の発進を目的とした老犬通信を老犬飼育ボランティアに向けて発行した。
- 3) 老犬飼育委託家庭に対して、定期的（3～4ヶ月毎）な家庭訪問と健康状態に応じた家庭訪問を実施した。

家庭訪問件数 34回

平成21年度老犬総数 37頭（うち老犬飼育委託35頭、老犬ホーム飼育2頭）

5. 所有犬の飼育管理に関すること

- 1) 診療施設の設備・薬品を適正に管理した。
- 2) 盲導犬キャンペーン犬の短期飼育委託を行った。

短期飼育委託回数 2回

6. 北海道盲導犬協会東北ホワイエの活用に関すること

- 1) 東北ホワイエを活用し、東北地方のユーザーに対してフォローアップを行った。

7. 養成及び資質向上に関すること

- 1) 全国盲導犬施設連合会盲導犬訓練士資格認定要件に必要なスクーリングへ研修生1名を出席させた。
- 2) 研修生に対して盲導犬訓練士、盲導犬歩行指導員養成カリキュラムに基づいた養成を実施した。

8. 管理に関すること

1) 「公益財団法人」への建物外壁サインの変更を行った。

9. 財源確保に関すること

1) ミーナの募金箱設置協力者へ送金依頼を送付し入金率の向上を図った。又、ライオンズクラブ・スーパーマーケット・飲食店等への新規設置を行った。

収支予算比118%、入金件数1,468件、新規設置数93件、総設置数5,534件と成った。

(年間入金件数 3,069件 25,092千円 21年度当初予算比109%)

2) サポート会員継続率の向上の為、入金案内状の再送付を行った。

予算比109% 入金件数719件、新規会員114件 会員数2,488件と成った。

入金種別 ジュニア33件・子犬204件・老犬192件・盲導犬270件・法人老犬6件・法人盲導犬14件、 道内539件・道外180件

(年間入金件数 1,550件 17,784千円 21年度当初予算比105%)

3) 団体、企業、ライオンズクラブ等協力者への訪問を行い継続支援の依頼を行なった。収支予算比91% 寄付金協力者922件。(道内68%・道外32%)

(年間合計 2,290件 102,267千円 21年度当初予算比106%)

4) 街頭募金の実施内容の検討を行い冬季実施時間を変更した。

収支予算比93% 実施回数 48回

(年間合計82回 4,864千円 21年度当初予算比97%)

5) 各種イベントで盲導犬啓発目的商品の頒布を行った。

販売品目：Tシャツ・トートバッグ・携帯ストラップ・キーホルダー等27品目。

6) 盲導犬使用者・視覚障がい者・協会所有犬飼育ボランティアへの犬具、日常生活用具、飼料等の頒布を行った。

販売品目：犬具・ドッグフード等48品目。視覚障がい者用生活用具等73品目。

- 7) 公益認定に伴い名刺・封筒のリニューアルを行ない、裏面に公益法人移行の告知・税制上の優遇に付いて、又サポート会員・ミーナ募金箱設置の協力依頼広告を掲載した。
- 8) 各種イベント、記念式典、ライオンズクラブ例会等に51回出席し企業、団体等への事業支援を依頼した。

10. 盲導犬の普及啓発に関すること

- 1) 協会広報誌『協会だより』・事業案内『視覚障がい者のための訓練案内』改訂版を発行した。

「協会だより48号」平成22年3月1日発行17,000部

「視覚障がい者のための訓練案内」改訂版 平成22年1月8日5,000部

- 2) 法人ホームページのトピックスの更新を行った。又、当協会ホームページのリニューアルに向け、作業を行なった。
- 3) 関係団体、商業施設、企業等の協力を得て82回の盲導犬キャンペーン活動を実施した。

11. 関連団体への協力に関連すること

- 1) 社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会事業へ協力した。
- 2) 全国盲導犬施設連合会事業へ協力した。
- 3) 北海道盲導犬ユーザーの会事業へ協力した。
- 4) その他の各地域の当協会盲導犬使用者の会事業へ協力した。
- 5) 国際盲導犬連盟(International Guide Dog Federation)事業へ協力した。
- 6) AGBN事業に協力した。

1月26日～28日 AGBN実務者会議（関西）出席

3月8日

AGBN検討会議出席

平成21年度 公益財団法人北海道盲導犬協会 事業報告

社会適応推進事業 〈公益目的事業2〉

(自平成21年11月2日 至平成22年3月31日)

1. 指導内容

1) 対象者

北海道内在住の視覚障がい者

2) 指導方法

(ア) 短期入所指導

※訓練生が施設に入所して訓練を受ける方法で1回の入所は概ね3週間。さらに入所期間終了直後に2~3日の訓練生自宅周辺でのフォローアップを実施している。

(イ) 在宅指導

※訓練生の自宅或はその周辺地域を利用して訓練を実施する方法。概ね週1回の訓練であることから訓練期間は6ヶ月~1年となる。

(ウ) 通所指導

※訓練生が都度施設に來所して訓練を受ける方法。

3) 指導数

(ア) 短期入所指導は12ケースを実施した。 ※21年度実施合計数 27ケース

(イ) 在宅指導は14ケースを実施した。

平成21年度合計指導数は19ケース、うち年度内修了数11ケース。

(ウ) 通所指導は3ケースを実施した。

平成21年度に通年で行った合計指導数は5ケース。うち、年度内修了数3ケース。

4) その他業務

(ア) 面接業務は7ケース実施した。(道内5名/市内2名)

平成21年度実施合計数16ケース(道内6、市内10)

(イ) 相談業務は94件実施した。 ※平成21年度実施合計数267件

5) 指導課目

- (ア) 白杖歩行訓練（白杖を使って安全に目的地まで歩く訓練）
- (イ) 日常生活動作訓練（身の回り、家事、調理などの訓練）
- (ウ) 点字訓練（点字の読み書き訓練）
- (エ) パソコン訓練（音声や文字拡大ソフトを使用してパソコンを操作する訓練）
- (オ) ロービジョン訓練（低視力を補うルーペ、拡大器等の補助具を利用する訓練）
- (カ) 盲導犬取得に向けた必要な訓練
- (キ) 職場復帰に必要な訓練と支援
- (ク) 進学に必要な訓練と支援
- (ケ) 訓練や福祉サービスに関する相談

2. 生活訓練の説明及び啓発に関すること

- 1) 次年度開催予定の北海道眼科医会との共催による社会適応訓練講習会の準備に着手した。
- 2) 札幌市交通局バリアフリー化検討委員会に参加するなど、福祉事務所等行政機関に対する情報提供と連携を図った。

3. その他関連すること

- 1) 北海道盲導犬協会視覚障害仲間会宿泊研修に職員を派遣するなどして、北海道盲導犬協会視覚障害仲間会事業への協力を行った。
- 2) 吉田学園点字講習会に職員を派遣する等、道内の関連団体（訓練・医療・教育機関）との連携強化を図った。
- 3) 道内の視覚障がいに関わる人たちのネットワーク作りとしてロービジョンに関する勉強会を4回実施した。

平成21年度 公益財団法人北海道盲導犬協会 事業報告

派遣事業 〈公益目的事業3〉

(自平成21年11月2日 至平成22年3月31日)

1. 講師派遣

- 1) 専門学校・大学等の教育機関が実施する視覚障害リハビリテーションに関する講座への講師派遣依頼に可能な限り積極的に応じた。

講師派遣対応21回 学校等派遣受講者 1,807名

- 2) 新潟県が主催するガイドヘルパー向けの盲導犬説明会に講師を派遣する等福祉関係事業者等が実施するガイドヘルパー講習会への講師派遣を計6回実施した。

2. 講習会・イベントの実施

- 1) 7名の参加のもと第2回共同訓練体験会（盲導犬取得希望者と盲導犬宿泊体験セミナー受講者を対象）を開催した。うち4名がすでに盲導犬を申し込み済みの方、1名が新たに盲導犬申し込みに繋がった。

- 2) 5名の参加のもと第7回盲導犬宿泊体験セミナー（盲導犬取得に関心のある視覚障がい者を対象）を開催した。うち2名が新たに盲導犬申し込みに繋がった。

- 3) 個人を対象とした見学会を実施した。

施設見学対応 49回 施設見学者総数 398名

平成21年度 公益財団法人北海道盲導犬協会 事業報告

調査研究事業 〈公益目的事業4〉

(自平成21年11月2日 至平成22年3月31日)

1. 盲導犬に関する調査研究

- 1) 受精卵の凍結保存方法について帯広畜産大学の原虫病研究室と共同研究を行い、3月の獣医学会で発表した。

2. 視覚障害リハビリテーションに関する調査研究

- 1) 視覚障がい者用録音再生機器・音声ICタブレコーダー・携帯用拡大読書器を物品寄付として取り寄せるなど、日常生活用具の情報・資料収集を行い視覚障がい者へ情報提供を図った。

平成21年度 公益財団法人北海道盲導犬協会 事業報告

管理部門 <法人会計>

(自平成21年11月2日 至平成22年3月31日)

1. 法人運営に関すること

1) 基本財産の積み増しを行い1,000万円とした。

2) 理事会を次の通り計2回開催した

第1回(通算109回)理事会 平成21年12月18日

第2回(通算110回)理事会 平成22年 3月29日

3) 評議員会を次の通り計2回開催した。

第1回(通算72回)評議員会 平成21年12月18日

第2回(通算73回)評議員会 平成22年 3月29日

4) 経営会議を次の通り計5回開催した。

第7回 平成21年11月25日 第8回 平成21年12月4日

第9回 平成22年1月26日 第10回 平成22年3月1日

第11回 平成22年3月15日

5) 40周年(2010.11)記念事業へ向けての準備を行った。

6) 評議員選定委員会の委員を選定した。

2. 管理に関すること

1) 以下の諸規定の見直しを行った。

役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程・評議員選定委員会運営規程
顧問等の委嘱規程・定款の一部変更を行った。

2) 公益財団法人移行に伴いEPSON公益法人会計を導入し運用を行った。

3) 事務の合理的な運営の為、名簿管理システムの稼働に向けて準備を行った。

4) 勤務体制改善の為、現状分析の把握を行った。

5) 中期経営計画の策定に着手した。

3. その他関連すること

1) 職員の在籍状況

平成22年3月31日 (人)

	職員(男性)	職員(女性)	パート他
渉外部	2	-	1
事務部	2	2	2
指導部	8	7	5
繁殖部	1	-	3
管理人	-	-	1
計	13	9	12